

6月の思い出 李晴（2001年6月号より）

丁英が電話をかけてきたのは、ちょうど陽の光が気持ちのよい昼下がりの頃だった。受話器を取ると彼女の“彩雲”と呼ぶ声が聞こえ思わず笑ってしまった。彩雲^{注1)}は私の子供の頃の名前である。今でもはっきりと覚えているが、武先生の学級にはいり、最初に名前を読み上げられた時、先生は私の古臭い名前をからかい半分、調子を付けて読んだのだった。すぐに私は名前を改め、以後ずっとその名前を名乗っている。1978年の春も早い頃だった。

その年、私の住んでいる県の唯一の重点中学である巡鎮中学（日本の高等学校に相当）が学生の募集を再開した^{注2)}。ただちに各村の初級中学の2年生が沙泉小学校に集められ授業の補習をし、入試に備えることになった。丁英と永清は甲班、私は乙班で、私の組の担任は永清のお父さんである武先生だった。

武先生は他所の県の人で、当時もう40歳は過ぎていた。体つきは細く弱々しそうで、ちょっとやつれた顔立ちであったが、いつも温和な微笑をたたえていた先生だった。私は家が遠かったので学校に寄宿することにした。学校に住み始めた頃はまだ寒くて、いつもオンドルには火を絶やせなかった。武先生はそのことに特に気を配ってくれていた。夜が更け私たちが寝静まってしまっても、いつもまだ武先生は寝ることなく、ドアをそっと軽く押して部屋へ入り、さっと見廻してから手を伸ばしてオンドルの焚き口を触り、中を覗き

込む。もし炉の火が強かったりすると、先生はすぐに棒を探してオンドルに敷いてある毛氈の下に差し込み、毛氈が焦げ付かないようにしてくれた。

6月はザクロが赤くなり、アンズが黄色く色付き、瓜のつるがするすると伸びてゆく頃だ。試験の4、5日まえだっただろうか、友達が私にアンズを何個かくれた。黄色く柔らかいアンズ、微妙に透き通るような赤みを帯び、明るい緑色の葉っぱがくっついていて、それはとても可愛らしかった。私は一口で食べてしまった。しかし誰も想像もしなかったことだが、まもなくわたしは嘔吐を始めた。続いて目の前が暗くなり、脚から力が抜け、ひっくり返りそうになった。同級生は急いで私を支えながら病院へと連れて行ってくれたが、ちょっと歩いては停まり、病院の入り口までたどり着くこともたいていのことではなかった。とうとう私は道端の柱にしがみ付くようにして気を失ってしまった。話を聞きつけた武先生は急いで病院に駆けつけて来た。救急処置をしてもらい、私は夜になってやっと目がさめた。その晩先生は私のベッドの横でずっと私を見守り、家には戻らなかった。その後の数日、私はそのまま入院をして治療を受け、試験の前の日々を過ごした。武先生は学校へ戻り授業をする以外は日夜ベッドの側で私の看病を続けてくれた。毎日、朝早く先生は粟で粥を炊いてくれ、一匙、一匙と私に食べさせてくれた。夜にはベッドの傍らに

うずくまり、点滴の瓶を見守ったり、私に笑い話を聞かせて楽しませてくれた。

試験の当日の朝、先生は先にクラスのほかの生徒達を試験場へと連れてゆき、それから慌しく病院へ私を迎えに戻ってきた。先生は私を助けて自転車の上に座らせると颯爽とペダルをこぎ始めた。病院から試験場まではかなりの道のりがあり、先生は力を振り絞りながら用心深くペダルをこいでいた。背中の中のシャツは汗でぐっしょりとなってしまった。試験は3日続き、先生は3日間私を送り迎えしてくれた。照りつけるようなきびしい陽射しの下を一回また一回と先生は私を連れて病院と試験場を行ったり来たりしてくれた。その間遠く離れた所にいる父や母は私が病気で入院したことや、それでも試験を受けることが出来たことなどを全然知らなかった。

幸いにも私は試験に合格をした。その後の道は、あの一度の尋常ではない試験の跡をなぞっているようでもあるが、とにかく前進をし、今に至っている。もう20年もの年月が過ぎてしまった。その間、私が武先生に会えたのはたった1度、1985年の薄ら寒い日に沙泉の街角で偶然出会い、慌しく立ち話をした時だけだった。その後の10数年は茫々たる人の海の中にまぎれてしまった。現在、丁英と永清とは夫婦となり、武先生の傍らで寄り添いながら幸せに暮らしているそうだ。彼らはまだ私のことを覚えていてくれた。私のあの古臭い名前も、あの6月の出来事も。

(訳：岩田温子)

■訳者注

- 1) 作者の李晴によると、「彩雲」は彼女の曾祖父がつけた名前です、大変古典的な名前で農家の女性や雇い人、水商売の女性などの間によくある名前だそうです。しかし、文化大革命を経たこの当時、このような名前は打破すべき古い封建的思想と結びつけられ、マイナスのイメージが強かったそうです。
- 2) 県の高級中学の入学試験が再開された1978年は、10年続いた(1966~76年)文化大革命が終わった2年後です。全国で大学入試が再開されたのは1977年でした。